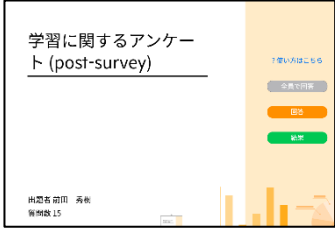


高等部教育目標				
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う				
探究型カリキュラム教育/学習目標				
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける				
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning				
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>	3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. ミニケーションを通して <自分/他者のやりとり>	5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>
上位学習目標				
【知識・技能】 ・自分が関心のある社会的課題の内容について、自分の言葉で説明することができる ・社会的課題に取り組んでいる団体、組織を訪れてフィールドスタディを実施することができる 【思考力・判断力・表現力】 ・自分が関心のある社会的課題について他者に自らの意見を伝える事ができる ・自分が関心のある社会的課題について調べ、その解決方法を考案することができる 【学びに向かう力・人間性】 ・主体性をもって、粘り強く学習課題に取り組もうとしている。 ・社会課題を自分事とし、社会に参画・貢献する姿勢を持とうとしている。				
下位学習目標				
【知識・技能】 ① 自分が関心のある社会課題の内容について、自分の言葉で説明することができる ② 社会課題に取り組んでいる団体や組織を訪れてフィールドワークを実施することができる ③ データや資料を適切に使って、効果的なプレゼンテーションを行うことができる 【思考力・判断力・表現力】 ① 自分が関心のある社会課題について、他者に自らの意見を伝えることができる ② 自分が関心のある社会課題について調べ、その解決方法を提示することができる 【学びに向かう力・人間性】 ① 数ある社会的課題の中から、自分自身がより理解を深め、課題解決をしたいと思うことができるものをみつけようとしている ② 社会課題と向き合う中で、その課題を学ぶことが自分自身の人生においてどのような意味を持つのか関連付けようとしている ③ 社会的課題に向き合う中で、社会的・文化的・歴史的な構造と人為との関係について考察しようとしている				

授業日	2/19(水)	3学期授業回数	6回目 / 全6回+試験
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】③ 【思考力・判断力・表現力】①② 【学びに向かう力・人間性】①②③ <本時の具体的な目標> 探究の成果を分かりやすく伝え、質疑応答に自分たちなりに回答することができる。		
時間 授業内容	0 連絡事項 流れの概要<1回の発表時間は10分(7分説明+3分説明)であり、各班は3回同じ発表を繰り返す> 1回目 (発表側, 発表を聴く側): (A班, D班+教員), (B班, E班+教員), (C班, F班+教員) 2回目 (発表側, 発表を聴く側): (A班, E班+教員), (B班, F班+教員), (C班, D班+教員) 3回目 (発表側, 発表を聴く側): (A班, F班+教員), (B班, D班+教員), (C班, E班+教員) ※ポスターを変更する。ブラ板の表に前半のポスターを張り、裏に後半のポスターを張っている。 4回目 (発表側, 発表を聴く側): (D班, A班+教員), (E班, B班+教員), (F班, C班+教員) 5回目 (発表側, 発表を聴く側): (D班, B班+教員), (E班, C班+教員), (F班, A班+教員) 6回目 (発表側, 発表を聴く側): (D班, C班+教員), (E班, A班+教員), (F班, B班+教員) 5 ポスターセッション ○前半 (A班, B班, C班) の発表の様子  ○後半 (D班, E班, F班) の発表の様子  ※E班は珊瑚水槽も展示 70 教員及びゲストよりコメント 80 打ち上げと発表の振り返りを、発表後すぐに行った。 		
評価方法	聴き手に配布しているコメントシートを参考に、探究の活動をわかりやすく伝えられたか判断する。		
宿題指示	期末考査後、口頭試問を実施する。これまでの探究活動を振り返っておく。		